

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13037	2	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	応用栄養学Ⅱ (応用・特殊環境と栄養・実践) (Applied Science of Human Nutrition Ⅱ)				
担当教員名	北島 幸枝				
授業の概要及び到達目標					
<p>応用栄養学Ⅰに続いて、各ライフステージ（思春期、成人期、閉経期、高齢期）における生理的特徴や変化、栄養問題の特徴を学び、栄養評価（栄養アセスメント）に必要な評価法と栄養素等必要量の基本的な考え方を修得する。また、各ライフステージ別での特徴的な疾患の予防と改善のための栄養ケア・マネジメントを理解する。さらに、特殊環境下（環境やスポーツ）での身体的変化と栄養管理の考え方について理解する。</p> <p>各ライフステージは単独ではなく生命の誕生から死までを一連の流れとして捉え、健康維持、増進のための栄養ケア・マネジメントを実行できることを目標とする。</p>					
準備学習等					
<p>第1回目 前期の授業内容を復習しておく。</p> <p>第2回目 テキスト「応用栄養学」の第6章を熟読しておく。</p> <p>第3回目 テキスト「応用栄養学」の第7章1を熟読しておく。</p> <p>第4回目 前回の復習とテキスト「応用栄養学」の第7章2を熟読しておく。</p> <p>第5回目 テキスト「応用栄養学」の第7章2を熟読しておく。</p> <p>第6回目 前回の復習をしておく。</p> <p>第7回目 前回の復習をしておく。</p> <p>第8回目 第1回目～7回目までの復習をしておく。</p> <p>第9回目 テキスト「応用栄養学」の第8章1を熟読しておく。</p> <p>第10回目 前回の復習とテキスト「応用栄養学」の第8章2を熟読しておく。</p> <p>第11回目 前回の復習をしておく。</p> <p>第12回目 テキスト「応用栄養学」の第9章1を熟読しておく。</p> <p>第13回目 テキスト「応用栄養学」の第9章2を熟読しておく。</p> <p>第14回目 テキスト「応用栄養学」の第10章1を熟読しておく。</p> <p>第15回目 テキスト「応用栄養学」の第10章2を熟読しておく。</p> <p>準備学習 : 教室内 30 時間 (15 週×2 時間) + 予・復 15 時間 (15 週×2 時間)</p>					
成績評価の方法	期末試験 80%、確認テスト 20%				
テキスト	<p>①ステップアップ栄養・健康科学シリーズ 応用栄養学：(株)化学同人 (ISBN978-4-7598-1900-7)</p> <p>②「日本人の食事摂取基準(2015年版)」、菱田明他：第一出版(株) (ISBN978-4-8041-1312-8)</p>				

参考図書	①「食事摂取基準 理論と活用 第2版」、鈴木公他：医歯薬出版（株） (ISBN978-4-263-70982) ②「応用栄養学 ライフステージ別・環境別」、木戸康博他：医歯薬出版（株） (ISBN978-4-263-70993-1)
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連している同時期開講科目の応用栄養学実習Ⅱおよび前期科目の応用栄養学Ⅰ、応用栄養学実習Ⅰの予習・復習を行い、理解をしておくこと。</li> <li>・課題や提出物の期限は厳守すること。</li> <li>・小テストは、添削後次回講義時に解説します。以降の振り返り学修に活用すること。</li> <li>・授業の進行・内容は、同時期開講科目の応用栄養学Ⅱの進行状況や学生の理解度、大学行事等により変更する場合があります。</li> </ul>
授 業 計 画	
第1回目 妊娠期から成長期（学童期）の振り返り 成長期の栄養について 第2回目 成人期の栄養について 第3回目 成人期の栄養アセスメント 第4回目 成人期の栄養アセスメントと栄養ケア① 第5回目 成人期の栄養アセスメントと栄養ケア② 第6回目 閉経期の栄養について 第7回目 確認テスト 第8回目 高齢期の栄養について 第9回目 高齢期の栄養について 第10回目 高齢期の栄養について 第11回目 運動・スポーツと栄養について（特別講義） 第12回目 運動・スポーツと栄養について（特別講義） 第13回目 特殊環境と栄養について 第14回目 特殊環境と栄養について 第15回目 特殊環境と栄養について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長期の栄養アセスメントと栄養ケア</li> <li>・特徴的な疾患と栄養学的問題について</li> <li>・成長期の生理的特徴と問題点</li> <li>・成人期の疾患と食事摂取基準策定との関係</li> <li>・成人期の疾患と栄養ケア</li> <li>・成人期の疾患と栄養ケア</li> <li>・成人期の疾患と栄養ケア</li> <li>・閉経期の生理的特徴と栄養ケア</li> <li>・高齢期の生理的特徴と栄養との関連</li> <li>・高齢期における食事摂取基準の考え方</li> <li>・低栄養と身体活動、身体変化との関連</li> <li>・栄養アセスメントと栄養ケア</li> <li>・運動に伴うエネルギー代謝の変化と栄養学的影響</li> <li>・効果的な栄養補給とは</li> <li>・健康増進と運動、指針の活用</li> <li>・ストレス時における代謝の変化と栄養素の関連</li> <li>・高温・低温環境下における代謝の変化と栄養素の関連</li> <li>・高圧・低圧環境、無重力環境、災害時の代謝の変化と栄養素の関連</li> </ul>